

東洋英和女学院大学大学院

2014年度前期入学試験

秋季選抜 問題

国際協力研究科 修士課程

小論文

☆以下の6問より1問選択して解答せよ。(字数制限なし)

選択した問題番号を解答用紙に明記すること。

- ① いわゆる「アラブの春」によって、エジプトでは1952年の王政打倒革命以降60年近く続いた軍事独裁体制が崩壊した。しかし、いったん「民主化」への期待が高まったものの、最近再び深刻な混乱を経験しつつある。現在のエジプト情勢について、思うところを述べよ。
- ② 2011年、欧米を中心とする国際社会は、内戦状態にあったリビアに軍事介入し、当時のカダフィ政権を打倒した。しかし同様の内戦状態にあるシリアに対しては、2013年夏の現在に至るまで国際社会による軍事介入は控えられたままである。両者の違いは何故だと考えるか。
- ③ 北朝鮮の核武装問題と、イランの核疑惑問題とを比較して、その異同を論じよ。
- ④ 多くの発展途上国では、貧困故に子供が教育を受けられず、その結果、大人になっても就業機会が限られ貧困状態から脱却できない、といった悪循環が見られる。そのような悪循環を抜け出すのにはどのような教育形態があり得るのかを論じよ。
- ⑤ アメリカでは、50年前のキング牧師の「私には夢がある」との有名な演説以来、人種差別の撤廃に向けた努力が続けられ、黒人のオバマ大統領の誕生はその成果とも言える。しかし、移民国家アメリカでは黒人以外の人種問題もある。これらについてあなたの考えを自由に述べよ。
- ⑥ 欧米諸国においては、NGOによる国際協力活動について民間からの寄付金が多く、NGOの中には数千人の職員を抱え、高い専門性を持ったものもある。これに対して日本では、民間からの寄付はあまり多くなく、NGOも小規模なものが多くなっている。これについてあなたの考えを述べよ。